



梅雨の大雨に備えましょう！

近年、局地的な大雨により、冠水や道路の寸断等、畜産経営に影響が出る被害が発生しています。

本年も梅雨時期の大雨の発生が予想されますので、日頃から災害発生時のリスクを想定し、減災のための取り組みに努めましょう。



事前の対策

- 大雨による浸水のおそれがある場合は、対策を講じるとともに、家畜・家きんの避難場所を確保してください。
- 行政機関や生産者団体等との連携により、停電や断水等の対応を確認し、被災時には自家発電機の確保等早急に対応できるよう努めてください。
- 飼料、燃料などは、不測の事態を考慮し、少なくとも1週間以上維持できるよう、計画的な購入に努めてください。

被害拡大防止のための対策

- 避難情報を確認し、人命を守るための行動を最優先してください！
- 天候が回復した後、直ちに施設等に破損、汚染がないか確認し、必要に応じて補修、消毒してください。
- 飲水に適した水の給与や家畜・家きんの健康観察に努めてください。
- 水濡れ、土壌の付着などにより品質が低下した飼料の家畜・家きんへの給与は中止してください。

大雨等による被害があった場合は、すみやかに当所まで連絡してください。